

尾崎防災公園 いよいよ遊具設置へ

令和3年（2021）年に開園が予定されている尾崎防災公園。面瀬地区まちづくり協議会では、一昨年度よりプロジェクトチーム（藤田勝チームリーダー）を設置し、昨年6月には市長に提言書を提出しました。

これまでもお知らせしたとおり、尾崎防災公園は、市の予算では遊具の設置が難しいことからプロジェクトチームで寄付金募集を行っています。



作業風景

NPO法人プレイグラウンド・オブ・ホープ（東京）を通して台湾の企業から遊具を寄付していただき、大型遊具となるザイルクライミングや幼児用遊具・高齢者用健康遊具を設置しましたのでご報告します。

面瀬小学校
3年 佐藤朱美さん

設置作業にご協力いただいたみなさん

作業は、9月1日から1週間ほど行われました。地元のみなさん、小学校の谷山校長先生にもご協力いただきました。プレイグラウンド・オブ・ホープ代表のマイケルさん、作業監督のスチュさんを中心に作業が進められ、設置が完了しました。遊具は開園までは使えませんのでご注意ください。



大島・亀山から撮影した尾崎防災公園

今回設置した遊具は全部で8種類です。昨年のふれあい祭りで要望の多かったザイルクライミングほか幼児用遊具4種類と、高齢者用健康遊具3種類です。スペイン製の遊具で、珍しい遊具が揃っています。もちろん日本の遊具設置基準を満たしている安全な遊具です。

開園まで半年を切り、いよいよ公園らしい形になってきました。まだ工事中のため立ち入りはできませんが、完成が待ち遠しいです。



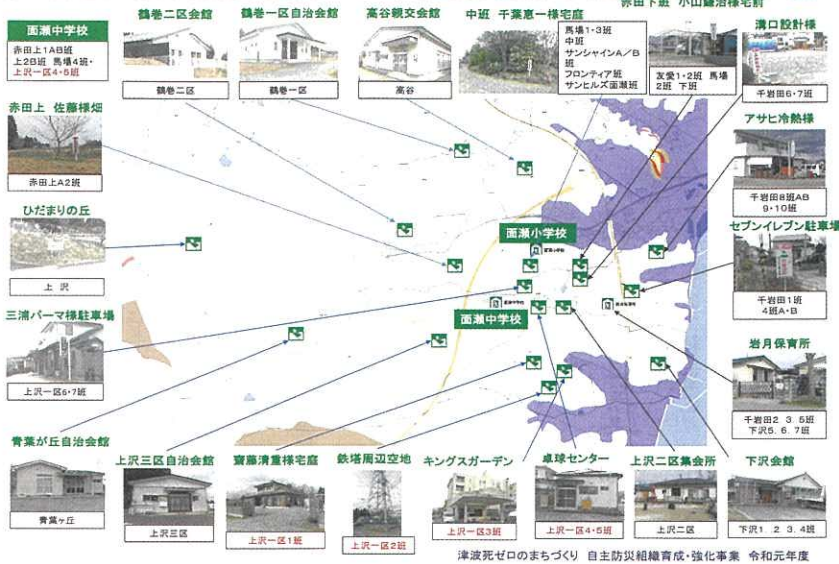
団体紹介

「津波死ゼロのまちづくり」

面瀬地区自主防災組織



面瀬地区総合防災訓練1. 2次避難場所・安否確認場所一覧



作成した面瀬地区避難場所の一覧表

令和元年12月、面瀬地区に防災組織（遠藤光夫会長）が立ち上がりました。地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分で守る」ために活動する組織

です。現在の活動としては市の総合防災訓練と合わせた各自治会の連絡調整、防災行事の企画や共有、防災対策への組織図の作成等を行っています。



昨年度の高谷地区の避難訓練の様子（齋藤会長提供）

今年の防災訓練は11月15日を予定しています。市の総合防災訓練の会場が今年は面瀬中学校となっており、同日開催で各地区での訓練がおこなれる予定です。内容はそれぞれの地区によりますが、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しながら実施することです。「災害に備えたまちづくり」として地域の安全・安心につながっていると感じます。

子育てサークル こぱんだくらぶ



★活動日情報

- 10月1日（木）交流会
- 10月8日（木）交流会
- 10月15日（木）【予約制】手作りおもちゃを作ろう！
- 10月22日（木）交流会
- 10月29日（木）【予約制】みんなでハロウィン♪



手作りおもちゃを作ろう！イメージ

詳しいイベント情報はLINE登録をしてくださいね★



昨年のハロウィンの様子



コロナウイルスの感染症対策を十分に行った上で活動しています♪ぜひ一度遊びに来てください。ママだけでなくパパやじいじ、ばあばとの参加、妊婦さんの参加もOKですよ～！